



合志市誕生10周年記念事業

ロゴマーク・キャッチフレーズデザイン募集



合志市は平成28年2月27日に合併10周年を迎えます。平成27年度は、本市のさらなる発展を目指して市民の皆さんとさまざまな記念事業を企画します。

その第1弾として、全国にPRするための情報発信ツールとして使用するロゴマーク・キャッチフレーズのデザインを募集します。

●募集内容

- ①「ヴィーブルくん」と「ひまわりドンちゃん」を取り入れたデザインとし、10周年をイメージできるよう「10」「10th」なども使用してください。
- ②デザインはロゴマークとキャッチフレーズを合わせたものとし、キャッチフレーズは20文字以内でロゴマークの上下どちらかに表示してください。
- ③採用作品は、10周年事業の横断幕や広報、市ホームページなどで使用します。

●応募方法

- ①応募用紙にデザインを描き必要事項を記入してください。

- ②応募用紙1枚につき1作品。一人何点でも応募できます。
- ③政策課へ直接提出するか、メールまたは郵送してください。(当日消印有効)

●応募用紙配布場所

政策課、西合志庁舎総合窓口、各支所、図書館、ヴィーブル、御代志市民センターで配布しています。市ホームページからもダウンロードできます。

●応募締切 2月27日(金)

●表彰等 優秀賞(採用作品) 1点
※合志市誕生10周年記念式典で表彰します。

●結果発表 3月末日に市ホームページで公表。優秀賞に選ばれた人には直接通知します。※結果発表をもって受賞者以外への結果通知にかえします。

●応募上の注意 採用作品におけるすべての権利は、市に帰属し、応募作品の返却はいたしません。採用作品の使用にあたり、作品を補整、修正または単色・モノクロで使用する場合があります。

●問い合わせ先 政策課 政策班(合志庁舎) 〒861-1195 合志市竹迫2140
Eメール seisaku@city.koshi.lg.jp ☎248-1028

認知症啓発映画上映会・認知症相談会

長崎在住の漫画家・岡野雄一さんのエッセイ漫画「ペコロスの母に会いに行く」が映画化されました。深刻な社会問題として語られがちな介護や認知症ですが、この映画に登場する認知症の母と息子の何気ない日常を通して、認知症について何かを感じ、理解を深めてみませんか。

上映会終了後、認知症についての相談会も開催します。

- と き 2月10日(火)
開場 午後0時30分 開演 午後1時～
- と ころ ヴィーブル文化会館
- 参 加 費 無料
- 申込期限 1月30日(金)
※電話でお申し込みください。
- 申 込 先 市社会福祉協議会 ☎242-7000

●問い合わせ先
高齢者支援課 包括支援センター班(西合志庁舎)
☎242-1124

熊本高専×さいばーとれいん×合志市
合同プロジェクト
「こうし3pro! 放送局」が始動

このプロジェクトは、昨年10月に熊本高等専門学校、地元の民間企業さいばーとれいん、合志市の3者が協働で設立した地域情報コンテンツを発信する産官学協働事業です。



メディア制作スタジオ

3 pro! (さんぷろ) とは、本市に関連する番組(プログラム)を制作(Produce)し、地域の振興(プロモーション)につなげる取り組みを意味します。これから熊本高専ICTセンターのメディア制作スタジオを拠点として、2月下旬頃から、主に「Ustream」(インターネット生放送)などのソーシャルメディアを用いて情報発信を行なっていきます。

●問い合わせ先
熊本高等専門学校 熊本キャンパス(ICTセンター)
担当 小松一男 ☎242-6103

地域の伝統行事を受け継いで
鶯替え神事で福招き

11月29日、弘生菅原神社(通称・合生神社)で鶯替え(うそかえ)が行なわれました。

鶯替えは菅原道真公を祭る神社で行なわれる神事で、鶯という鳥の人形を取り替えて、これまでの悪いことを嘘にして吉に替え、福を呼び込むという意味があります。この行事を行なう神社は少なくなりましたが、弘生菅原神社では鶯の代わりに木札を使ったり引きの形で行なわれ、今も地域で受け継がれています。



自分の札の番号が呼ばれるのを楽しみに待つ子どもたち

言葉で築く 人との絆
西合志南中で木村和也さんが講演

11月22日、西合志南中学校でRKK熊本放送アナウンサーの木村和也さんが講演しました。これは、PTAの研修のために同校の保護者会と学校が企画したものです。

言葉の選び方一つで相手を感じることは大きく変わり、傷つけることもあれば力を与えることもある。木村さんは、大げがによる自身の入院生活で感じた言葉の持つ大きな力と、人との絆の大切さを語りました。



楽しいユーモアを交えながら熱い想いを語る木村さん

今シーズンの感謝を込めて
ロアッソ熊本 Thank you 2014 交流イベント

11月24日、御代志市民センターでロアッソ熊本とサポーター500人の交流イベントを開催しました。これは、ロアッソ熊本全選手・スタッフが参加し、今季を総括してリーグ戦終了のあいさつなどを行なうイベントで、2014 ロアッソ熊本火の国もりあげタイ! 参加自治体である本市と共同で開催したものです。

今シーズン、もりあげタイとして本市を担当した養父雄仁選手・高橋祐太郎選手・岡本賢明選手には、荒木市長から感謝状と市の特産品詰め合わせが贈られました。また、本年度も市のイベントに多大な貢献のあったDJコバさんには、加えて合志産の米1俵が贈呈され、サポーターで満席の会場は大きな拍手に包まれました。

そのほか、選手のミニトークショーや来季のユニフォームの披露、今シーズンを振り返る映像、引退選手によるあいさつなどがあり、来場したサポーターはこの日限りのイベントで特別な時間を過ごしました。



左) サポーターを出迎えるヴィーブルくん 右上) 市が作成したロアッソ熊本応援フラッグ 中央) ロアッソ熊本全選手が合志市に集結 左下) 米1俵は市長からのサプライズでした 右下) 最後は選手と一緒にサポーターの皆さんをお見送り